

ガス充填・放出サイクルを繰り返す耐久試験や大流量の水素ガスを使用する試験が可能

対応可能な試験事例

- 超低温恒温恒湿槽を使用した高圧部品の温度サイクル試験、水素ガス性能・耐久試験
- 圧縮水素容器への水素ガス充填試験・ガスサイクル試験
- 高圧水素圧縮機にて水素ガスを95MPaまで昇圧可能
- ガスブースター装置により、水素・窒素・ヘリウム・天然ガスにて供試体を110MPaまで昇圧可能
- 圧縮水素ガスを燃料とする自動車の燃料装置試験（UN-R134、別添100など）
- 圧縮水素自動車燃料装置用容器および容器附属品の容器再検査
- 高圧部品や圧力容器の気密試験、耐压試験など



耐爆・温調チャンバー



地下ピット（試験時）



高圧水素圧縮機
(95MPa)



水素ガス蓄圧容器
(2448L)

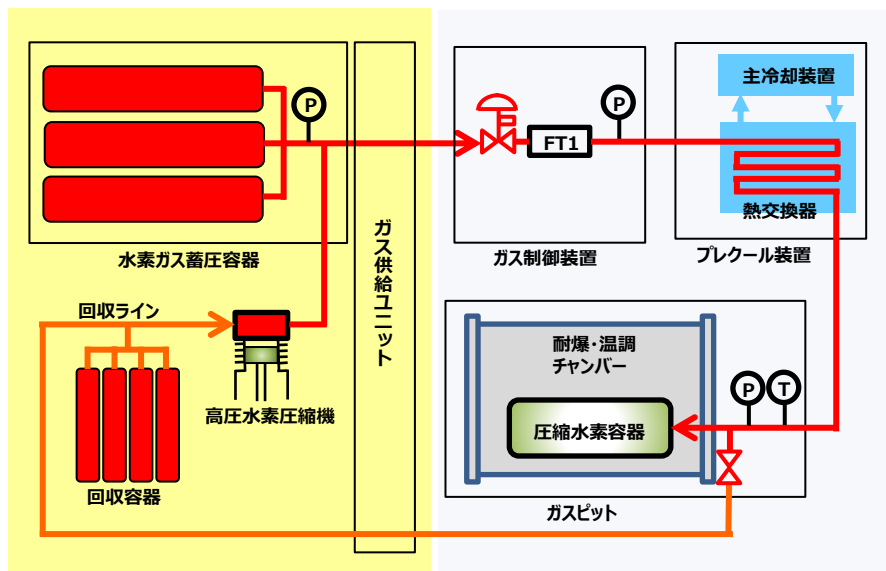


ガスブースター装置（110MPa）

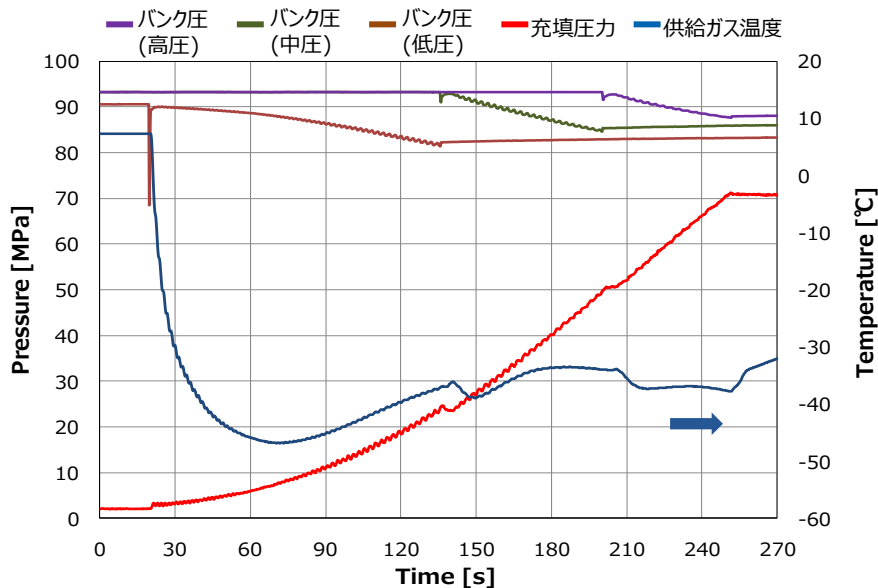


超低温恒温恒湿槽（-70～150℃）

試験装置概要



水素ガス試験 系統例



昇圧率制御充填試験

<高圧水素圧縮機>

最高使用圧力：95MPa
処理能力：200Nm³/h

<水素ガス蓄圧容器>

貯蔵容量：2448L
安定流量での試験が可能

<耐爆・温調チャンバー>

供試体の温度を制御した
充填試験が可能（-40～60℃）

<容器内ガス温度・ひずみ計測>

水素充填時の容器内の
ガス温度やひずみ計測が可能

<プレクール充填>

冷却水素ガス（-40℃）での
充填試験が可能

<急速充填>

瞬時最大流量：3600g/minで
容器への充填試験が可能

主な試験装置および使用設備

装置		主な仕様
高圧水素ガス試験設備	高圧水素圧縮機	最高圧縮能力：95MPa，処理能力：200Nm ³ /hr
	水素ガス蓄圧容器	内容積：2448L（300L×6本，72L×9本），最高蓄圧圧力：95MPa
	ガス制御	95MPa超高压ライン，水素回収ライン
超低温恒温恒湿槽		温度範囲：-70～150℃，湿度範囲：20～98%，有効内寸：W1.0×D0.8×H1.0m，爆発ベント付き
耐爆・温調チャンバー		寸法：φ900×3700mm（有効内寸：φ500×2000mm） 温度範囲：-40～60℃ ※70MPa容器（120L相当）の破裂に耐える
温度，圧力測定計		試験体内部圧力，チャンバー内圧力，チャンバー内温度：2点，試験体温度：15点
水素ガス検知器		最小検知量：20ppm（接触燃焼式），40ppm（吸引式），130ppm（ハンディ式）
ガス供給ユニット		瞬時最大流量：3600g/min，高圧保持流量：1500g/min*350s（80MPaの場合）
ガスブースター装置		最高圧縮能力：110MPa 使用可能ガス：水素ガス，ヘリウムガス，窒素ガス，天然ガス

くわしくはこちら

<https://www.jari.or.jp/>



お問い合わせはこちら

<https://www.jari.or.jp/contacts/>

